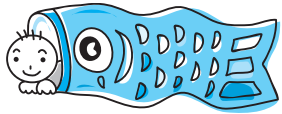


一般質問 市政に望む

今回の定例会では、3月6日、7日、8日、9日の4日間にわたり、30名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをたしました。

質問、答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の様子は市議会ホームページで録画映像を配信中。



市民の命と暮らしの第一の市政を

殿村健一（日本共産党）

消費税大増税、社会保障削減が市民生活に与える影響をどう認識しているか。

市長 社会保障を持続可能なものとし、将来も安心して暮らせるようにしていくためには、受益と負担の両面から我が国人口構造の変化に対応した制度となるよう見直しをすべき時期と考えています。

東日本大震災の教訓は、自治体と職員の役割の大きさ

である。市民の命を守る職員体制を強化すべきだがどうか。

防災安全担当部長 大規模災害が発生した場合、市民の身体、生命、財産を守るため全職員が災害対応を行います。

新庁舎建設に連動する大型開発は止め、市民の命と暮らしを守るべきだがどうか。

政策経営部長 町田駅周辺地域の魅力を向上、新たなにぎわいの創出やゆとり空間の確保が必要と考えています。

政策経営部長 町田駅周辺地域の魅力を向上、新たなにぎわいの創出やゆとり空間の確保が必要と考えています。



将来の町田市のあり姿は！

おさむら敏明（志政クラブ） 都市の魅力を高めるため「まちだ未来づくりプラン」実現への進め方は。

市長 計画の段階から徹底的な情報の提供と課題の共有を図り、市民、団体、事業者及び町田市が協働で取り組んでいきます。

市民協働のまちづくりは都市経営のキーワード、確立に向けた施策を問う。

町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト、小田急北側にターミナル、歌劇場を集積し賑わいの創出を。 市長 北口を含めた町田駅周辺について、これまでの町づくりの蓄積を生かし、一層の利便性と魅力を備えた中心市街地に育成していきます。



鶴川駅周辺への改善について！

おく栄一（公明党）

鶴川駅周辺での渋滞及びトラブル解消の為、一般車両等の乗り入れ場所確保を真剣に検討すべきと思うが。

市長 一般車の乗降場所については東側広場拡張も視野に入れ、世田谷街道の渋滞緩和とあわせて検討したい。

三輪町に大型店舗が出店予定されている。それに伴い交通渋滞が予測されるが、その対策は。

加藤副市長 店舗西側の幅六メートルの市道は交通量がふえることが予測されるので、今後安全対策を行う予定です。 スポーツ施設の会場スペースの工夫をすべきだが。 加藤副市長 市は指定管理者の事業実績報告に基づき年一回、評価及び改善の指導を、また指定管理者との情報共有を目的に、お客様の声や事業報告等の打ち合わせを少なくとも月に一回行っています。



「防災教育の日」の制定を

いわせ和子（自由民主党）

「町田市防災教育の日」を制定し、学校・保護者・地域が一体となった防災教育と防災訓練を市立小・中学校全校で一斉に実施を。

学校教育部長 毎月行われる避難訓練や安全指導を引き続き充実させるとともに、安全教育プログラムや防災教育副読本、防災教育補助教材等を活用し子どもたちの防災意識を高め、防災教育を推進しています。

学校教育部長 毎月行われる避難訓練や安全指導を引き続き充実させるとともに、安全教育プログラムや防災教育副読本、防災教育補助教材等を活用し子どもたちの防災意識を高め、防災教育を推進しています。

審議会、委員会等の傍聴時に磁気テープの貸出し、託児サービスが出来る環境整備を。

総務部長 現在の状況では、磁気テープはありません。 子ども生活部長 子育て家庭への支援として、子育て中の保護者の皆様がさまざまな場面でご参加がしやすくなるようなことは必要だと考えています。

子ども生活部長 子育て家庭への支援として、子育て中の保護者の皆様がさまざまな場面でご参加がしやすくなるようなことは必要だと考えています。



学校跡地体育館利用再開へ前進

河辺康太郎（民主党・社民・ネット） 震災以後、利用が休止されている学校跡地体育館の利用再開を強く望む。

加藤副市長 市民が身近でスポーツに親しむ環境、それを整備することは非常に重要だと認識しています。また、市民が安全に施設を使えるという点も、これまで重要な認識として、市民の方々が安全に安心してご利用いただけるように、改めて耐震診断を行い、その結果を見て再開の検討を進めていきたいというふうに考えています。

市内商店の支援、育成の観点から新庁舎イベントスタジアムにおいて、昼食時、弁当の販売を可能にしてはどうか。

驚北副市長 イベントをやっているときはなかなか難しいかもしれませんが、お弁当を置くことも可能だろうと思っています。



旧小学校体育館



健康づくりの推進

佐藤和彦（民主党・社民・ネット）

健康づくりの推進員に、今後、どんな活動を期待し、支援していくのか。

地域保健担当部長 地域における健康づくり推進員活動は大変重要と考えており、地域に密着した内容の研修や講演会などの企画運営にかかわる機会をふやしていきます。

認知症サポーターが地域活動を行っていくために、どのような取組を推進しているのか。

認知症サポーターが地域活動を行っていくために、どのような取組を推進しているのか。

いきいき健康部長 養成人数をふやす取り組み、質を高める取り組み、活躍の場を充実させる取り組みがあります。

認知症の予防や早期発見・早期治療のための取組内容と今後の方向性は、いきいき健康部長 認知症の早期発見や早期治療の取り組みとして専門医が高齢者支援センターへ出張し、福祉と医療の連携を図っています。

いきいき健康部長 認知症の早期発見や早期治療の取り組みとして専門医が高齢者支援センターへ出張し、福祉と医療の連携を図っています。



安全で静かな町田の空をかえせ

谷沢和夫（民主党・社民・ネット） 去る二月八日、厚木基地着陸寸前の米軍機E6Bプラウラー電子戦機がエンジンカバーなどの部品を落下させる事故をおこした。市はこれにどう対応されたのか。

驚北副市長 事故の翌日、厚木基地及び南関東防衛局に出向き再発防止、原因究明までの飛行中止、航空機の徹底した安全管理を求める緊急要請を町田市単独で行いました。

自衛隊機P3C対潜哨戒機（プロペラ機）に替え、ジェット機P1の導入が予定されている。市の対応は。 政策経営部長 哨戒機の配備は国防上の問題であり、国が責任を持って判断することと考えます。しかし航空機騒音や安全対策は市民に大きな影響を与える問題なので、厚木基地騒音対策協議会、周辺自治体と連携し関係機関へ要請行動を行っていきます。



災害・町田へよい

あさみ美子（公明党）

小中学生への実践的防災教育（釜石モデル）の導入を求める。

学校教育部長 文部科学省の実践的防災教育総合支援事業については、前向きに実施していく方向で考えています。

「ハグ避難所運営ゲーム」を使い避難所関係者連絡会や自治会の方々への模擬体験研修会の開催を求める。

驚北副市長 今後、より多くのの方々に避難所運営ゲームの活用やグループワークなどを体験していただきたいと考えています。 女性の視点を生かした防災計画の見直しや、個々の備蓄品への啓発を。 驚北副市長 現在、男女のニーズの違いを考慮した対策について地域防災計画で定めています。今後も、女性の意見を積極的に取り入れ、計画に反映します。



議会の決議を行政は尊重せよ

吉田つとむ（志政クラブ）

議会から行政が決議を受けた場合の取り扱いはどうなっているか。

総務部長 特に定めていません。しかし、関連部局が議会の意思としての決議を政策決定の重要な要素として受けとめ、研究、検討を行い、その結果を意思決定すること、そういう形で対応しています。

その決議の文言が一字一句まで詳細な検討が必要ではないのか。

総務部長 議会に絡む内容ですので、議会事務局との調整もあるかと思っています。少し研究をさせていただきたい。

総務部長 議会に絡む内容ですので、議会事務局との調整もあるかと思っています。少し研究をさせていただきたい。